

研究実践

1年 A

1 研究テーマ

自分の考えをもつ子どもを育てる指導

2 研究テーマへの思いと研究実践

(1) 研究テーマへの思い

素直で知的なことに興味をもつ子どもたちである。しかし、少人数であるため、一人の意見が大きな影響力をもつ。学びとは、他の考え方を受け止め、自分の考え方を再確認し、みんなで学び合おうとすることが大切であると考え。豊かな学びを育てていくためには、まず自分の考えをもつことが第一歩であると考えた。対象をよく見、自分なりに考えることができ初めて集団で学び合える基本の力を付けることとなる。そのための手立てとして次のような取り組みを続けてきた。

(2) 研究実践

①聴き合い、教え合い、学び合う授業の日常化

実践の日常化を図るために、一日1時間は考える力をつける授業を実践するように心がけた。その時間はじっくり考えさせ、全員自分の考えを必ず発表する時間を確保した。幸い少人数なため、全員の意見を聴いても短時間で済むため、授業が単調になり集中力がとぎれることはなかった。一つの教科にしぼらず、どの教科においても取り組んだことが逆に子どもの個性が生かされる形になりよかったように思われる。

また考えを伸ばす重点単元を精選して取り組み、十分な指導時間を確保するように努めた。

②協同的な学びに焦点を当てた授業の実践

小さな疑問やつまづきがあっても、すぐ教師に助けを求めるのではなく、まず友達に助けを求め解決していけるように、3人グループを学習面でも生活面でも活用してきた。その際、「〇〇はどうするの。」「〇〇を教えて。」と、きちんと相手に伝えることと、解決したら、お礼を言うことなどを指導してきた。また教師もその教え合いの内容に気を配り、必要なときは支援したり見守ったりしてきた。そして、教え合いや学び合いが、次第に深まりのあるものになるように配慮した。

さらに、授業の中でグループで話し合う時は、一つにまとめることなく、全員考えが違ってよいことを確認するようにしてきた。

3 成果と課題

・聴くことが大切であることがわかる子どもに育っている。発表の後に「〇〇さんと似ている。」「〇〇さんと同じだ。」「ちょっと違う。」とつぶやきながら聴く子どもが多くなっている。自分の考えと比べながら聴いている訳である。〇〇さんの話を聴いて考えがこうなったと思える子どもが増えてきて欲しいものである。他の考えを受け止めることで、自分の考えを確かめる力が付いてきているが、そこから一步進んで、質の高い学びに深めていくことができるように実践を積み重ねていきたい。

・一人一人の子どもが安心して表現できるような雰囲気を作っていくためには日常生活における学級作りに負うところが大きい。学習の場だけでなく、生活面でも一人一人が認め合い学び合えるような人間関係を作り上げていく努力をしていきたい。

第1学年 国語科学習指導案

平成18年9月12日(火) 2校時
指導者A

1 単元名 かずとかんじ

2 目標

・数を表す漢字を読んだり書いたりするとともに、いろいろな物の数え方を知る。

3 全体計画 (総時数4時間)

- ・「へんなひとかぞえうた」を楽しく読もう。・・・1 (一・二・三・・・)
- ・「ひのたまかぞえうた」を楽しく読もう。・・・1 (一つ・二つ・三つ・・・)
- ・「こぶたのかぞえうた」を書こう。・・・1 (一ぴき・二ひき・三ひき・・・)
- ・いろいろなものを数えてみよう。・・・1 (一こ・一まい・一ぼんなど)

4 単元と子ども

本単元では、漢数字の読み方(音・訓)と物の数え方と使い方を学習する。

1年生はひらがなを習得したばかりである。音読みと訓読みがある漢字を学習することは、大変難しい内容であると考えられる。また、助数値の変化と物の数え方の特性も、理解させるより、何度も楽しく読んだり歌ったりすることで自然に身に付いてくる内容と考える。

9名の児童のうち、7名は4月の段階でひらがなの読み書きができていた。そのため、漢字を学習することを大変楽しみにしている。

いきなり漢字学習に力を入れるのではなく、まずは漢数字の入った「数え歌」を楽しく読み、自然に漢数字に親しめるようにしたい。

5 本時の活動(1/4)(学習の場 1年教室)

(1)ねらい かぞえうたを楽しく読み、漢数字に親しむことができる。

(2)学習活動

活動と予想される子どもの姿	子どもの学びを支えるために
1 数え歌を読み、数え歌の意味を知る。	・数え歌という言葉に着目させることで、今後の学習への見通しをもたせる。
2 数を漢字に換えて読む。	・書き表し方が違うが、同じことを表現していることが分かるように、数字と漢字のカードを準備する。
3 数えうたを読んで、気付いたことを話し合う。 ・おもしろいところ ・同じ音で始まる言葉 ・くりかえしていることば	・「ここがおもしろいよ。」という視点で、気付いたところには線を引くように助言する。 ・全員で話し合うことで、数え歌をより楽しめるようにする。
4 グループで、話し合う。 ・食べるかどうか	・話し合いながらメニュー表に○×を付けることで、内容のおもしろさにも気付くことができるようにする
5 次時の学習内容を確認する。	・次の数え歌のプリントを準備しておくことで、次時への意欲につなげる。

第1学年 国語科学習指導案

平成18年10月23日(月) 4校時
指導者A

1 単元名 声に出して読もう

2 目標

・語句のつながりや言葉の響きを楽しみ，声に出して読む。

3 全体計画 (総時数2時間)

・絵描き歌を楽しく読もう。・・・1

・「ともだち」を楽しく読もう。・・・1

4 単元と子ども

詩教材は「はる」に続き二つ目であるが，韻律を持った文章は，これまでいくつか学習している。子ども達は「数と漢字」で学習した数え歌で，調子やリズムのよさを感じ，繰り返し音読することの楽しさを体験している。

本単元では内容や言葉の響きなどを考えながら声に出して読み，楽しむ学習である。短い言葉の中から，いろいろな発見をしたり，語彙の増加や想像力の向上などを図りながら，言葉への関心を深めていくようにしたい。

5 本時の活動(1/2)(学習の場 1年教室)

(1)ねらい 絵描き歌を楽しく読み，声に出して読むことができる。

(2)学習活動

活動と予想される子どもの姿	子どもの学びを支えるために
1 絵かき歌を読み，絵かき歌の意味を知る。	・絵かき歌という言葉に着目させることで，学習への見通しをもたせる。
2 絵かきを読んで，気付いたことを話し合う。 ・おもしろいところ ・思ったこと	・気付いたところには印を付けるようにように助言する。 ・全員で話し合うことで，絵かき歌をより楽しめるようにする。
3 グループで，絵をかきながら歌を読む。	・絵のかき方をグループの友達と教え合うよう助言する。 ・グループでの読み方を例示し，どの子ども声を出せるようにする。
4 次時の学習内容を確認する。	

